

次世代コンテンツ利用研究ラボ Next Generation Contents Lab.

教授 小木哲朗 教授 手嶋龍一 教授 保井俊之 准教授 当麻哲哉 准教授 神武直彦 教授 狼嘉彰



次世代コンテンツ利用研究ラボでは、コンテンツ企業と共同で、アニメ産業、コンサート・スポーツの3Dライブ中継、競馬場での高精細映像配信、各種イベントにおける映像配信等の研究、実験を行っています。

■ 皆既日食の高解像度映像配信実験

- 2009年7月22日に46年ぶりに観測された皆既日食の様子を、中国の武漢、杭州、日本の奄美大島、硫黄島の各観測地点から協生館へライブ中継を行った。
- 当日は皆既日食の鑑賞に合わせて、シミュレーションによる日食現象の説明や、太陽活動と地球環境に関するパネルディスカッション等が行われた。



パネルディスカッションの様子



皆既日食の伝送映像

(協力:DMC機構、KMD、五藤光学研究所、ソニー、NHK-MT)

■ 4Kステレオ映像の制作

- CDFにおける4Kプロジェクタや4Kビデオカメラ等の、先端的な映像装置の導入を行い、超高精細(4,096x2,160)立体視映像の利用技術に関する研究を行っている。
- 実際に4Kビデオカメラやハイビジョンステレオカメラを用いた撮影ロケを行い、映像コンテンツの制作を行っている。



民家園合掌造り内での撮影風景



白川郷展望台でのロケの様子

(協力:NHK-MT)

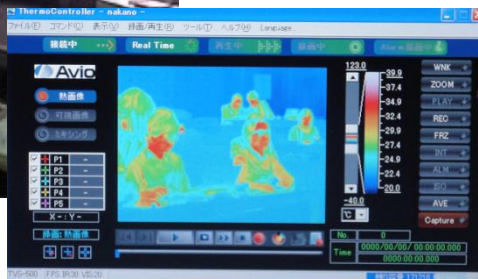
■ クラシックコンサートの3D伝送実験

- 2010年12月31日に東京文化会館で行われたクラシック・コンサート「ベートーヴェンは凄い！全交響曲連続演奏会」の様子をハイビジョン3D映像+5.1chサウンドで、会場から協生館への臨場感伝送実験を行った。
- コン서트会場の興奮や臨場感をどれだけ伝送できるか調べるため、観客の脳波(EEG)、心電図(ECG)、サーモカメラ等の生体情報の計測実験を行った。



コンサートの3D伝送の様子

観客のストレスを計測するサーモカメラ映像



(協力:SFC、KMD、KPRI、NHK-MT、NTTコミュニケーションズ等)

■ スポーツによる地域振興

- レンタルコート等のスポーツ施設と3D映像シアター等のメディア技術、ネットワーク技術を結び付けることで、スポーツを中心とした運動教室や健康指導の実施等、新しい複合施設を中心とした地域活性化を目指したシステムのデザインを行っている。
- 例えば、プロバスケットボールチームとの連携により、産官学の連携による地方都市の地域活性化モデルの提案を行っている。



(協力:ソニー、bjリーグ等)